

令和3年度 県と企業との包括連携協定に基づく連携事項実施報告
県内イオンモールで実施したイベント(部局順)

No.	連携項目	連携実施時期・日時	具体的連携事項(イベント名)	実施内容(目的、イベント内容等)	備考(協力依頼店舗等)	評価、次年度に向けた課題等	継続 新規	部局名	所属名	写真
1	教育・文化の推進に関すること	令和4年2月14日 ～令和4年2月20日	令和3年度明るい選挙啓発ポスター作品展示会	明るい選挙をテーマに描かれたポスターコンクール(県内小中高校生対象)において奈良県優秀作品(入選及び佳作)に選ばれた作品を展示することで、生徒の親世代だけでなく、施設に足を運ぶ幅広い世代の目にとまることによって選挙に関心を持ってもらい、投票参加を呼びかける。	イオンモール大和郡山	計21作品を掲示依頼。県民への幅広い周知につながった	継続	総務部	選挙管理委員会事務局	
2	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	5月17日～31日	自動車税納期内納付啓発イベント	自動車税の納期内納付について広く呼びかけるため、自動車税の納期内納付を啓発するその仕組みを県民に周知するためにパネル展を開催	イオンモール高の原	4階平安コートエスカレーター横でパネル展を開催し、県民へ納期内納付の啓発につながった	継続	総務部	税務課	
3	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	11月5日～8日	地方消費税啓発イベント	県内消費の拡大を通じた地方消費税収の増加を図るため、その仕組みを県民に周知するためにパネル展を開催	イオンモール大和郡山	3階イオン前でパネル展を開催し、県民へ県内消費の啓発につながった	継続	総務部	税務課	
4	ICカード等の活用に関すること	12月～令和4年2月	マイナンバーカード申請受付イベント	令和3年12月4日・5日高の原、令和4年1月29日・30日大和郡山、2月12日・13日橿原の催事場において参加自治体と一緒にマイナンバーカードの申請受付を実施。催事場でマイナンバーカードの申請受付を行う。写真撮影無料、申請者全員にノベルティの提供あり。	イオンモール(高の原・大和郡山・橿原)で開催	参加団体(奈良市・大和郡山市・天理市・高取町)の住民の申請が多く、申請された方には好評であった。イベントの周知、広報を3ヶ月前ぐらいから広く行う必要がある。	新規	総務部	デジタル戦略課	
5	教育・文化の推進に関すること	10.23(土)・24(日)	県民きらめきステージ・奈良県芸能まつり	奈良県みんなでのしむ大芸術祭のイベントとして、県民が文化芸術に親しむことができるステージイベントを開催	イオンモール高の原で開催	4840人の方にご覧いただき、多くの県民が芸術文化に触れる機会となった。	継続	文化・教育・くらし創造部	文化振興課	
6	教育・文化の推進に関すること	11.19(金)～25(木)	奈良を感じる感覚展	奈良県みんなでのしむ大芸術祭のイベントとして、県民が文化芸術に親しむことができる障がい者の方のアート作品を中心とした展示イベントを開催	イオンモール大和郡山で開催	575人の方にご覧いただき、アンケートでは「障がいがある、なし関係なく楽しめる作品展。とても良かったです。」という声があった。	継続	文化・教育・くらし創造部	文化振興課	
7	教育・文化の推進に関すること	12月19日	奈良県立ジュニアオーケストラクリスマスコンサート2021	12月19日に県の音楽文化の振興及び未来のトップアーティスト育成のための、コンサートを実施。	イオンモール高の原平安コートで実施	コンサートを行ったことにより、県民(京都府民含む)への幅広い周知と、新規団員の増加につながった。	継続	文化・教育・くらし創造部	文化振興課	
8	教育・文化の推進に関すること	10月16日～17日	「ならっ子アートスタジオ」inイオンモール橿原	10月16日～17日に教育・文化の推進のため、ならっ子アートスタジオを実施	イオンモール橿原で開催	参加者及びオンライン参加者87名が回答し、「子どもがアートに触れたり、五感を刺激するようなイベントを今後も開催してほしい」という声があった。	継続	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村	
9	教育・文化の推進に関すること	令和4年2月1日	みんなく出張ワークショップinイオンモール大和郡山	折り紙や紙粘土など身近な素材を使ってゆらゆら揺れるかわいいうさぎの置き飾り作りに取り組んでいただく課題を通して、当館「ひなまつり」展のPRを実施。	イオンモール大和郡山で開催	参加いただいた方々(31名)からは非常に高い評価をいただき、民俗博物館への関心をお持ちいただくことができた。今後は、ワークショップでの作業内容に工夫を加え、より少ないマンパワーでより多くの方にPRできるような方法を模索していきたい。	継続	文化・教育・くらし創造部	奈良県立民俗博物館	
10	子育て支援及び青少年の健全育成に関すること	10月4日(月)～12日(火)	「少年の主張」奈良県大会入賞作文掲示パネルの展示	県内の中学生が、日ごろ抱えている思いや、多くの人に聞いてもらいたいこと、社会に対する提言などの主張作文の奈良県大会における入賞作分の掲示パネルを展示	イオンモール大和郡山で開催	作文を書いた中学生だけでなく、多くの方に中学生の主張を見てもらうことができた。	新規	文化・教育・くらし創造部	青少年・社会活動推進課	
11	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	12月4日(土)～5日(日)	森のめぐみであそぼう!	県立野外活動センターの利用促進のため、広報事業の一環としてネイチャークラフト体験を実施。	イオンモール大和郡山	感染防止対策を講じながら2日間実施することができた。参加者数は昨年と同様約500名程度となったが、クラフト体験を楽しんでいただくともに、センターについて幅広く広報することができた。しかし参加者とトラブルも起こり、接客に対する心構え、県職員としての自覚、スタッフ間の共通理解等の徹底が課題となった。次年度コロナ禍が終息していれば、座席数を元通りに増やし、ゲームコーナーも復活させたい。	継続	文化・教育・くらし創造部	県立野外活動センター	
12	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	1月15日(土)～16日(日)	森のめぐみであそぼう!	県立野外活動センターの利用促進のため、広報事業の一環としてネイチャークラフト体験を実施。	イオンモール橿原	感染防止対策を講じながら、また前回の課題であった接客面での共通理解に注意喚起を努め、2日間実施することができた。参加者数は昨年同様約550名程度となったが、クラフト体験を楽しんでいただくともに、センターについて幅広く広報することができた。次年度コロナ禍が終息していれば、座席数を元通りに増やし、ゲームコーナーも復活させたい。また、より一層参加者の方々に楽しんでいただくよう、参加者目線に立ち計画を進めていきたい。	継続	文化・教育・くらし創造部	県立野外活動センター	
13	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	11月11日～12日、11月13日～14日	第27回なら・ヒューマンフェスティバル人権啓発パネル展示	11月11日～12日及び11月13日～14日に、人権啓発のため、第27回なら・ヒューマンフェスティバル人権啓発パネル展示を実施	イオンモール橿原(11月11日～12日)、イオンモール大和郡山(11月13日～14日)で開催	県内2店舗で展示。県民への幅広い周知につながった。	継続	文化・教育・くらし創造部	人権施策課	

令和3年度 県と企業との包括連携協定に基づく連携事項実施報告
県内イオンモールで実施したイベント(部局順)

No.	連携項目	連携実施時期・日時	具体的連携事項(イベント名)	実施内容(目的、イベント内容等)	備考(協力依頼店舗等)	評価、次年度に向けた課題等	継続 新規	部局名	所属名	写真
14	高齢者・障がい者の支援に関すること	8月1日	消費生活フェア	消費者トラブル及び特殊詐欺被害防止に関する啓発	イオンモール大和郡山で開催	評価:参加者延べ241名。多種ブースを設置により、幅広い年代に啓発ができた。 課題:感染症対策、足を止めていただく工夫。	継続	文化・教育・くらし創造部	消費・生活安全課	 
15	災害対策、防災、防犯及び交通安全に関すること	7月27日	考えよう!人とペットの災害対策	災害時のペット対策のための、人とペットの災害対策啓発のイベントを実施。	イオンモール大和郡山で開催	評価:参加者延べ268名。児童を中心に、ペット防災を学んでいた。課題:感染症対策、足を止めていただく工夫。	継続	文化・教育・くらし創造部	消費・生活安全課	 
16	災害対策、防災、防犯及び交通安全に関すること	1月23日	考えよう!人とペットの災害対策	災害時のペット対策のための、人とペットの災害対策啓発のイベントを実施。	イオンモール橿原で開催	評価:参加者延べ268名。児童を中心に、ペット防災を学んでいた。課題:感染症対策、足を止めていただく工夫。	継続	文化・教育・くらし創造部	消費・生活安全課	
17	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	10月4日	女性のため再就職応援フェスタ	再就職を希望する女性と企業のマッチングイベント「女性のための再就職応援フェスタ」を共催で実施。HPでの広報協力や館内掲示の協力を得た。	イオンモール大和郡山で開催	イオンモール大和郡山のチラシ、HP、アプリにイベント情報を掲載いただいた。コロナ禍にもかかわらず多くの方に参加いただける内容となった。次年度も引き続き、協力いただきたい。	継続	文化・教育・くらし創造部 こども女性局	女性活躍推進課	 
18	子育て支援及び青少年の健全育成に関すること	12月21日	保育の仕事就職応援フェア	保育士の就職応援のため、県内の保育所や認定こども園の担当者から各施設の仕事内容や勤務条件について直接話が聞ける催しを開催	イオンモール大和郡山市で開催	県内の就職を検討されている方に保育所等の施設担当者や保育人材バンクから各施設の仕事内容等の案内を行い保育人材確保のための周知につながった。	継続	文化・教育・くらし創造部 こども女性局	奈良っ子はぐみ課	
19	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	7月20日	福祉人材確保のためのイベント	地域密着の福祉の仕事への就労の促進につながるため。福祉・介護事業所との面談会を実施。	イオンモール大和郡山で開催	来場者43名、アンケートには33名が回答し、「丁寧に助言してくださったので良かった」という声があった。参加事業所アンケートでは「平日だと学生参加難しい為、土日開催が良い」という声があった。	継続	福祉医療部	長寿・福祉人材確保対策課	 
20	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	10月20日	福祉人材確保のためのイベント	地域密着の福祉の仕事への就労の促進につながるため。福祉・介護事業所との面談会を実施。	イオンモール橿原で開催	来場者16名、アンケートには11名が回答し、「またこのようなフェアの開催があれば嬉しい」という声があった。参加事業所アンケートでは「平日は人が少なかったので土日開催が良い」との声が多かった。	継続	福祉医療部	長寿・福祉人材確保対策課	 
21	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関すること	12月7日	福祉人材確保のためのイベント	地域密着の福祉の仕事への就労の促進につながるため。福祉・介護事業所との面談会を実施。	イオンモール高の原で開催	来場者13名、アンケートには11名が回答し、「丁寧に色々教えて頂いた」という声があった。	継続	福祉医療部	長寿・福祉人材確保対策課	 
22	高齢者・障がい者の支援に関すること	7月15日～16日	はたらく障害者応援フェア、サポート体験型イベント	障害者就労施設において生産される授産商品の品質及び認知度を高め、障害のある人の工賃向上を図るとともに、障害のある人が困っているときにサポートを実践することができるよう県民の方々の意識向上を図ることを目的として、授産商品販売会やサポート体験型イベントを開催。	イオンモール大和郡山で開催	・出店事業所数 10件 売上額 358,035円 ・コロナ禍で、販売機会が減少していることから、当該イベントは事業所から歓迎されており、意欲的に取り組む姿勢が見受けられた。 ・今後も、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で販売会等を実施することにより授産商品の品質及び認知度向上を図っていきたい。	継続	福祉医療部	障害福祉課	 
23	高齢者・障がい者の支援に関すること	9月11日～12日	サポート体験型イベント	障害のある人が困っているときにサポートを実践することができるよう県民の方々の意識向上を図ることを目的として、サポート体験型イベントを開催。	イオンモール橿原で開催	・新型コロナウイルス感染拡大のため授産商品販売会は中止 ・障害理解促進にかかるパネル展示等のみの実施であったが、立ち止まって見る人や、パンフレットを手取る人も多々あり、周知啓発活動として一定の成果はあった。	継続	福祉医療部	障害福祉課	 
24	高齢者・障がい者の支援に関すること	10月9日～10日	農福連携マルシェ	農業分野での障害のある人の就労を支援し、障害のある人の職域拡大や工賃向上及び農業の担い手の拡大を図るため、「農福連携マルシェ」を開催。	イオンモール橿原で開催	・出店事業所数 13件 売上額 654,130円 ・農業者にも参加を促し、農業や販売方法等について参加者同士の情報交換の場として、貴重な機会となっている。 ・県民に農福連携の意義を理解していただくとともに、障害のある人の工賃向上につながる取組として、今後も継続していきたい。	継続	福祉医療部	障害福祉課	 
25	高齢者・障がい者の支援に関すること	11月6日～7日	はたらく障害者応援フェア、サポート体験型イベント	障害者就労施設において生産される授産商品の品質及び認知度を高め、障害のある人の工賃向上を図るとともに、障害のある人が困っているときにサポートを実践することができるよう県民の方々の意識向上を図ることを目的として、授産商品販売会やサポート体験型イベントを開催。	イオンモール高の原で開催	・出店事業所数 12件 売上額 789,978円 ・コロナ禍で、販売機会が減少していることから、当該イベントは事業所から歓迎されており、意欲的に取り組む姿勢が見受けられた。 ・今後も、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で販売会等を実施することにより授産商品の品質及び認知度向上を図っていきたい。	継続	福祉医療部	障害福祉課	 
26	子育て支援及び青少年の健全育成に関すること	11月6日～11月7日	「薬物乱用防止街頭キャンペーン～STOP THE DRUGS!～」	薬物乱用防止のための啓発活動を実施。「薬物乱用撲滅」を目指すためのポスター展示、デジタルサイネージ、啓発物品の配布を実施。	イオンモール橿原で開催	来場者が多く、多くの県民への普及啓発につながった。コロナ禍での開催であったため展示と啓発物品の配布のみであった。コロナ感染拡大状況を考慮しながら、さらに集客力のあるイベントの実施が必要	継続	福祉医療部 医療政策局	薬務課	

令和3年度 県と企業との包括連携協定に基づく連携事項実施報告
県内イオンモールで実施したイベント(部局順)

No.	連携項目	連携実施時期・日時	具体的連携事項(イベント名)	実施内容(目的、イベント内容等)	備考(協力依頼店舗等)	評価、次年度に向けた課題等	継続 新規	部局名	所属名	写真
27	県民の健康増進及び食育に関すること	11月6日～11月7日	N a R a くすりと健康2021	県民への菓の正しい知識の普及と医薬分業についての展示及び、県産品の紹介に関する展示及び啓発物品の配布、ワークショップ・クイズラリーの実施。	イオンモール榎原で開催	クイズラリーには計149名、ワークショップは延べ186名の方が参加、その他健康測定やブース展示等で県民への幅広い周知啓発につながった。コロナ感染拡大状況を考慮しながら、さらに集客力のあるイベントの実施が必要。	継続	福祉医療部 医療政策局	薬務課	
28	環境対策に関すること	2月18日	大和川水質改善強化月間パネル展inイオンモール大和郡山	2月の大和川水質改善強化月間の啓発活動の一環として、大和川の水質改善を目的にパネル展を実施した。	イオンモール大和郡山で開催	啓発物品の配布方法を工夫するなど、より水質改善を啓発できる方法を検討したい。	継続	水循環・森林・ 景観環境部	水資源政策課	
29	地産地消の推進、県産品の販売促進に関すること	7月31日～8月1日	「親子で作ろう奈良の木木工教室！」	7月31日～8月1日に「奈良の木づかい」を推進するイベントを実施。	イオンモール榎原で開催。	当日は朝から行列が出来るなど好評であり、認知度向上につながった。	新規	水循環・森林・ 景観環境部	奈良の木ブランド課	
30	地産地消の推進、県産品の販売促進に関すること	10月2日～10月3日	「奈良の木づかいフェスタ」	10月2日～10月3日に「奈良の木づかい運動推進月間」を啓発するイベントを実施。	イオンモール大和郡山で開催。	新型コロナウイルスの影響により規模縮小(体験イベントの中止)となったが、来年は体験イベントも開催してほしいとの声を多くいただいた。	継続	水循環・森林・ 景観環境部	奈良の木ブランド課	
31	環境対策に関すること	7月31日	脱炭素を実現する夢の水素エネルギー	7月31日に水素エネルギーの普及啓発のための水素実験教室を実施。その他、燃料電池自動車MIRAIの展示や、水素エネルギーを紹介するポスターの展示	イオンモール大和郡山	・コロナ感染対策の徹底(検温、実験器具の消毒等) ・子供から大人まで幅広い世代での普及啓発につながった	新規	水循環・森林・ 景観環境部	環境政策課	
32	環境対策に関すること	11月29日～12月5日	令和3年度「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーン啓発ポスター入選作品展示	県土の環境保全の啓発と一人一人が自らの地球環境を守る意識を醸成することを目的として、不法投棄防止を呼びかける内容をテーマに募集した啓発ポスターの入選作品等について展示。	イオンモール大和郡山	・コロナ感染対策の徹底(パネルの消毒、設置や撤去時の体調変化等の情報共有) ・「奈良県不法投棄ゼロ作戦」の不法投棄防止やゴミのポイ捨て禁止等の普及啓発につながった	継続	水循環・森林・ 景観環境部	環境政策課	
33	環境対策に関すること	11月6日～7日	プラごみなくそうinイオンモール大和郡山	プラスチックごみの削減啓発のため、動画・印刷物の紹介、クイズの実施及び啓発物品(エコバック等)の配布を実施。	イオンモール大和郡山で開催	啓発物品を3,000枚を配布し、クイズには112名が参加。県民への幅広い周知につながった。	新規	水循環・森林・ 景観環境部	廃棄物対策課	
34	環境対策に関すること	12月4日～5日	プラごみなくそうinイオンモール榎原	プラスチックごみの削減啓発のため、動画・印刷物の紹介、クイズの実施、啓発物品(エコバック等)の配布及びリサイクルに関する絵画の展示を実施。	イオンモール榎原で開催	啓発物品を3,300枚を配布し、クイズには192名が参加。県民への幅広い周知につながった。	新規	水循環・森林・ 景観環境部	廃棄物対策課	
35	観光の振興に関すること	1月18日～1月25日	奈良県景観資産パネル展	奈良県景観資産を周知するため、パネル展を開催	イオンモール大和郡山で開催	13枚のパネルを展示。多くの客が集まる施設において、幅広い層に周知することができた。	継続	水循環・森林・ 景観環境部	景観・自然環境課	
36	子育て支援及び青少年の健全育成に関すること	10月9～10日	第78回奈良県児童・生徒発明くふう展【展示会】	次代を担う児童・生徒の発明に対する関心と創作意欲を喚起し、豊かな観察力と想像力を養うことを目的に、県内の児童・生徒から応募のあった作品の展示(2日間)を実施	イオンモール大和郡山で開催	応募された全179点を展示し、2日間で652名が来場。うち、53名がアンケートに回答し、「子供が作品を全部見て回っていた」「駐車場が広く見学後にイオンで買い物できるので便利」等の声があった。事業の主なターゲットである親子連れを中心とした層への啓発ができた。	継続	産業・観光・雇 用振興部	産業振興総合センター	
37	子育て支援及び青少年の健全育成に関すること	11月17日	第78回奈良県児童・生徒発明くふう展【表彰式】	次代を担う児童・生徒の発明に対する関心と創作意欲を喚起し、豊かな観察力と想像力を養うことを目的に、県内の児童・生徒から応募のあった作品から優秀作品の表彰を実施	イオンモール大和郡山で開催	コロナ対策として各受賞者につき保護者1名までの制限を設け、密を避けて実施することができた。	継続	産業・観光・雇 用振興部	産業振興総合センター	
38	地産地消の推進、県産品の販売促進に関すること	毎月1回 (新型コロナウイルスのため5月、9月は開催中止)	奈良いろいろマルシェ	奈良の優れた産品を消費者に知ってもらうことを目的にイベント実施	イオンモール高の原で開催	応募企業数が増加した。令和2年度の138者から令和3年度は199者が増加した。コロナ禍で販売機会が減少している中で、県内企業に対して機会の提供及び消費者に対する商品の周知に貢献することができた。	継続	産業・観光・雇 用振興部	産業振興総合センター	
39	災害対策、防災、防犯及び交通安全に関すること	6月5日～11日 9月3日～6日	「土砂災害パネル展」～土砂災害から身を守るために～	6月の土砂災害防止月間や9月3・4日の奈良県土砂災害防災の日に合わせて、一般住民の方々の土砂災害防止意識を醸成するため、普及啓発活動を実施。 ・パネル(A1版×30枚程度)の展示、チラシの配布、模型の設置・実演	イオンモール大和郡山 イオンモール榎原	紀伊半島大水害から10年という節目の年でもあったことから、多くの来場者にパネルを見ていただくことができた。また模型の設置によって、30組以上の親子連れに参加していただけた。	継続	県土マネジメント部	砂防・災害対策課	

令和3年度 県と企業との包括連携協定に基づく連携事項実施報告
県内イオンモールで実施したイベント(部局順)

No.	連携項目	連携実施時期・日時	具体的連携事項(イベント名)	実施内容(目的、イベント内容等)	備考(協力依頼店舗等)	評価、次年度に向けた課題等	継続 新規	部局名	所属名	写真
40	教育・文化の推進に関する事	12月3日～12月5日	第43回奈良県「未来の科学の夢」絵画展	入賞作品を大和郡山店舗に掲示、表彰式を開催。	イオンモール大和郡山で開催	来場者数が大幅に増加し、県民への幅広い周知につながった。応募作品の増加に向けた取組を継続して行いたい。	継続	教育委員会	学ぶ力はくぐみ課	
41	教育・文化の推進に関する事	11月3日	第30回奈良県産業教育フェア	専門高校の作品展示、学校紹介、進路指導等を実施し、多くの人々に本県の産業教育に対する理解と協力を促すとともに、高校生等による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として、イベントを実施。	イオンモール橿原で開催	各教科等会場にのべ1961人の来場者があり、産業教育に対する理解を深めることができた。	継続	教育委員会	高校の特色づくり推進課	
42	県南部の振興に関する事	9月18日～9月22日	奈良県立十津川高等学校作品展	作品展の木工作品や美術作品の鑑賞を通して、木の温もりを感じてもらおうとともに芸術に触れる機会を設けること。また十津川高校木工芸・美術コース等の教育活動を広報すること。	イオンモール橿原1F coen前で展示	当日、イオンモールの来場者数は約3万人で、1階での開催だったこともあり、多くのお客様に周知してもらえることが出来た。	継続	教育委員会	奈良県立十津川高等学校	
43	その他、地域の活性化及び住民サービスの向上に関する事	11月16日、17日	生命(いのち)のメッセージ展	犯罪や事故により亡くなった被害者一人ひとりの等身大型パネルを展示するもの。等身大パネルには、被害者の顔写真やご遺族のメッセージが添えられており、多くの人に被害者や残された遺族の現実を知ってもらい、生命の大切さ、重さについて考えてもらうもの(県警、(公社)なら犯罪被害者支援センターと三者主催)	イオンモール高の原(11月16日)、イオンモール大和郡山(11月17日)で開催。	2日間あわせて1,100名の参加があり、命の大切さとともに被害者遺族への支援の大切さについて参加者の認識が深まった。来場者のアンケートには「生命の大切さ、重さについて考えることができた」「被害者や残された遺族の現実を知ってもらえることができた。」という声があった。	新規	警察本部 文化・教育・くらし創造部	県民サービス課 人権施策課	
44	子育て支援及び青少年の健全育成に関する事 高齢者・障害者の支援に関する事	4/6,4/11,7/21,7/28,8/22,11/6,11/29,1/10	交通事故防止啓発活動	交通安全意識の向上のための広報啓発活動	イオンモール高の原、奈良登美ヶ丘、大和郡山、イオン西大和、いかるが、五條	高齢者から子供まで幅広い年齢層に向けた啓発により、県民の交通安全意識の向上につながった。	継続	警察本部	交通企画課	